



# 敬愛

令和3年4月23日

文責 輿石 信

第2号



「敷島中ホームページ」へ

## すてきな人生の花を咲かせられるように

朝8時、正門前。「おはようございます」と声をかけると、「おはようございます」と元気な声がたくさん返ってきます。こんな気持ちのよい言葉が行き交う場面から「敷中」の一日が始まります。生徒たちのさわやかな態度と言葉に清々しい気持ちになります。

本校の正門を入ると、花壇に色とりどりの花が美しく咲き誇っています。形も色合いもどれ一つとして同じものはありません。本校の466人の生徒も、この花たちのように、一人一人が性格や考え方、感じ方が異なり、豊かな個性をもっているはずです。花に早咲き遅咲きがあるように、学習やスポーツの習熟度の違いや、親しい友だちをすぐに作れる子、集団に入ることがなかなかできない子、人前でしゃべるのが得意な子、無口だけれど自分の考えをきちんと文章にできる子など、実にさまざまです。

本校では、授業や学級活動、行事、部活動等を通して、豊かな経験の場を用意し、それぞれの良さや可能性を伸ばし、将来、一人一人が自分らしい素敵な人生の花を咲かせることができるよう、全教職員で取り組んでいます。



校長室前の花壇。ツツジやパンジー、ナデシコが見頃です。

### <保護者の皆さまへ>

中学生の時期は、お子さまの心と体の変化に伴う言動に、どうしたらいいのか悩み、戸惑いが生じるときも出てきます。そんな時、本校の職員は親身になって皆さまといっしょに子どもの成長を考えていきます。困ったときは、子どもを真ん中に置いて、家庭と学校という立場を超え、知恵を出し合うことで、良い方法がきっと見つかるはずです。私たちは、お子さまが間違っただけをしたら厳しく叱ります。それが次への成長につながるからです。頑張ったときは皆で喜び讃えます。それが次への意欲につながるからです。そして、学校教育目標の達成に向け、力を合わせていきます。校長室にも遠慮なく、ご相談ください。

学校教育目標『一人一人の個性を伸ばし、自ら学ぶ生徒の育成を図る』

○ 自ら学ぶ生徒 < 知 >      ○ 心豊かな生徒 < 情 >

○ よく働く生徒 < 意 >      ○ 体を鍛える生徒 < 体 >

